

地区集会・シンポジウムの総括

(1) 地区集会のまとめ

- ◇学校の規模に関連して、統合することのメリット、統合しないことのメリットともに様々な意見が出されました。加えて、統合する場合における義務教育学校の創設や、統合せず小規模校同士の交流の機会を増やすことで社会性の向上を目指すことなど、具体的な学校の在り方についても意見がありました。
- ◇また、統合する場合における登下校のスクールバスの運用方法や、新たな学校施設の所在、新たに整備する場合の予算、既存の学校施設の管理方法など、統合によって生じる様々な問題に関する意見も出されています。
- ◇いずれの地区においても共通して、統合の有無にかかわらず「地域とのつながり」「地域の伝統や文化、歴史」を大切にしながら検討を進めてほしいという意見や、地域に愛着をもつことができる教育を目指すべきという意見が多く出されました。
- ◇今回の地区集会では、保護者の方や子どもたちの参加が少ないという結果になり、時間帯の設定や周知不足についての指摘がありました。また、より幅広く住民から意見聴取を行うことや、他の自治体における事例や審議会の内容に関する情報提供を求める意見が出されました。

(2) シンポジウムのまとめ

- ◇発表のあった2つの事例を参考に意見交換を行うことで、スクールバスの運用方法や義務教育学校における児童生徒の様子などを学ぶことができ、学校教育の在り方を検討するにあたって有効な知見を得ることができました。
- ◇これからの学校教育について検討するにあたっては、「子どもたちにとってよりよい仕組みは何か」ということを主軸に考えることが必要であり、様々な選択肢の中で既成概念にとらわれることなく柔軟に検討することが大切であることを確認しました。
- ◇いずれの事例においても学校と地域とのつながりを重視しており、地域の方と連携した学校づくりを進めながら多面的な視点で子どもたちを育む重要性が示されました。

(3) 総括

- ◆今ある小学校、中学校を統合すべきかどうか、最終的に学校教育はどうあるべきかについて検討するにあたっては、「子どもたちを中心に考える」という前提が欠かせません。そのうえで、登下校や学校施設などの問題等も合わせて検討しながら、揖斐川町としてのこれからの学校教育についての方向性を見極めるとともに、地域住民へ真摯に説明を行うことが求められます。
- ◆いずれの地区や学校においても歴史や伝統・文化が受け継がれてきており、各地区で一体となって子どもたちを見守り育てている現状があります。どのような学校教育の在り方になったとしても、地域とのつながりをより深めることができるよう、コミュニティ・スクール等も活用しながら、地域と一緒に今後の学校教育の在り方について検討を進めることが大切です。
- ◆また、今回参加できなかった住民の方や意見を発表できなかった住民の方などが意見を届けることができるよう、広報、町ホームページ等を活用して審議会の内容や様々な事例等について情報提供を行うとともに、今後も意見聴取の場を確保することが重要です。